

# 分科会予算調査報告書(平成28年度当初予算)

## 抽出主要事業評価

(総務生活分科会 No.4)

|  |                                   |           |
|--|-----------------------------------|-----------|
| (所属課, 事業コード)<br>事業名  | ( 廃棄物対策課 )<br>5541 ごみ分別収集事業 ※P119 |           |
| 予算額  | 平成26年度                            | 135,742千円 |
|  | 平成27年度                            | 138,922千円 |
|  | 平成28年度                            | 133,293千円 |
| <p><b>【必要性】</b><br/>                 &lt;目的の妥当性, 行政が行う必要性&gt;<br/>                 家庭ごみの処理の効率化を図るために必要である。</p> <p><b>【効率性】</b><br/>                 &lt;目的に対する費用等の関係&gt;<br/>                 ごみステーションを適正に配置することで, 効率的な収集が行える。</p> <p><b>【有効性】</b><br/>                 &lt;得ようとする効果&gt;<br/>                 快適な市民生活を営む上では必要不可欠な事業であり, 予算も妥当であると判断する。今後もしサイクルの推進に努めるとともに, 市民への周知を図り, ごみの減量化に向け一層の努力を求める。</p> <p><b>【公平性・継続性】</b><br/>                 &lt;事業の公平性及び財源の安定性&gt;<br/>                 新規のごみステーションの設置には, 安全かつ適正な運搬ができるよう十分な指導を行うべきである</p> <p><b>【調査結果】</b><br/>                 ごみの減量化に向けて3Rの推進をより一層図るべきであると考え, 「捨てればごみ, 活かせば資源」の考えを広く市民に浸透させる必要がある。また, 高齢化に伴いごみ出しができない世帯の増加も予想されることから, ごみの戸別回収について必要なコストの比較調査を強く望む。</p> |                                   |           |